

令和7年度 地域と大学連携事業 実施方針

■目的

学生の新しい発想や活力と、大学が有する専門性を活かし、学びの成果を実践する場を提供することにより、地域住民と学生との交流を拡大させ、学生の地域への愛着や誇りの醸成と、地元への定着がより推進することを目指す。併せて、学生との交流により地域活動が活性化し、多世代にとって魅力的で暮らしやすい地域づくりに向けた機運を醸成することを目指す。

■実施期間

令和7年7月1日～令和8年3月末日

■実施スケジュール(案)

令和7年3月	各大学あて公募予告(大学事務局、教員等)
4月	募集(～5月末)
6月	プレゼンテーション、採択決定、委託契約
7月～	実施(～3月末)
～3月	事業完了、完了報告

■公募対象

新潟市西区内にある大学

(新潟大学、新潟国際情報大学、新潟工業短期大学、明倫短期大学)

■活動主体

①大学のゼミナール

②大学の学生グループ等(サークル、同好会及び任意の学生団体グループ)

※②の場合、大学の教員または職員が1名以上参画し、当該事業の大学側の責任を担うこととする。

■委託料

1事業あたり50万円を上限とする。

■採択件数

3事業採択予定

■提案を募集する事業

西区内の地域の活性化または地域課題の解決を目的として、大学が地域と連携しながら事業実施することで、学生と地域住民の交流の促進や、地域への愛着や誇りの醸成及び地元定着等の効果が見込まれるもの。

(例)・ 学生による地域のイベントお手伝い

- ・ 大学内で行う交流イベント
- ・ まち歩き動画作成
- ・ 西区の農産物の PR
- ・ 学生による「にしくらしお勧めスポット」研究
- ・ 留学生による、母国語で地域のイベント紹介 等

上記の例に当てはまらない場合でも、地域の活性化または地域課題の解決を目的とするものであること。

■公募対象事業

大学のゼミナール又は学生グループ等が、地域団体(※)と連携しながら行う活動であり、以下①～⑥の全てに該当するものとする。

- ① 主に西区民を対象として西区内で実施するもの。
- ② 令和8年3月末で完了するソフト事業であり、地域の活性化または地域課題の解決を目的とする取組み。
- ③ 活動の全体を通して地域団体と学生との活発な交流・連携が期待され、大学と地域の相互理解の増進に寄与するものであること。
- ④ 政治、宗教などに関する活動や、公助良俗に反するものでないこと。
- ⑤ 事業の積算が適正であり、経費内訳が明らかであるもの。
- ⑥ 他の補助金等を受けないもの。

※地域団体 自治会、コミュニティ協議会、その他(NPO、地域住民グループ等)。

■事業の選定方法

審査委員会による書面審査、プレゼンテーション審査。

審査委員：市職員、有識者、地域住民代表者。

<評価基準>

審査項目	審査内容
1. 課題の把握	地域の活性化、または公益性のある課題解決を目的とした取組提案となっているか。
2. 企画力	事業目的や事業計画が妥当であり、課題解決に資する内容となっているか。また、単発的な取り組みではなく、年度内を通じて継続的に実施する内容となっているか。
3. 実施能力	提案内容等から事業の実施にあたっての知識は十分か。また、これまでの実績や経験から事業遂行能力は十分であり、連携の対象となる地域や地域団体の候補が概ね特定されているか。
4. 事業効果	事業計画を実行することで、具体的な効果や市民満足度の向上が期待できるか。また、予算の見積もりが適正で、費用対効果が高い事業計画となっているか。